

科目	地理 I a (Geography I a)		
担当教員	八百 俊介 教授		
対象学年等	環境応用化学科・1年・前期・必修・1単位【講義】(履修単位)		
学習・教育目標	教育目標4		
授業の概要と方針	人間の活動と自然との関係,自然相互間の因果関係を地形図・統計等資料から読み取る学習をする.必要な地理的情報を収集・考察する.		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	【C3】人間の活動と自然との関係,自然相互間の因果関係が理解できる		人間の活動と自然との関係,自然相互間の因果関係が理解できるかを中間試験・定期試験・課題で評価する
2	【C3】地形図・各種統計を活用し,必要な地理的情報を収集考察することができる.		地形図・各種統計を活用し,必要な地理的情報を収集・考察するすることができるかを中間試験・定期試験・課題で評価する
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は,試験80% 課題20% として評価する.100点を満点とし,60点以上を合格とする.試験成績は中間試験,定期試験の平均点とする.学期末に再試験を行うことがある		
テキスト	矢ヶ崎典隆他「新詳地理探求」:帝国書院 荒井良雄他「新詳高等地図」:帝国書院		
参考書			
関連科目	地理Ib		
履修上の注意事項			

授業計画(地理Ⅰa)

	テーマ	内容(目標・準備など)
1	内的営力による地形1	地球規模の大地形の分布と成因
2	内的営力による地形2	内的営力の影響
3	地形図の判読1	地形図の基本
4	地形図の判読2	地形図から小地形を判別し,災害や集落との関係をとらえる.
5	地形図の判読3	地形図から小地形を判別し,災害や集落との関係をとらえる.
6	地形図の利用1	地形図から村落など歴史を読み取る.
7	地形図の利用2	地形図から村落など歴史を読み取る.
8	中間試験	第1週目から第7週目の範囲で試験を行う
9	気候要素と特性1ならびに中間試験の解答解説	中間試験の返却・解答の解説を行うとともに気候分布の形成要因を学習し,データから特性を読み取り,地点を特定する手法を学習する.
10	気候要素と特性2	気候分布の形成要因を学習し,データから特性を読み取り,地点を特定する手法を学習する.
11	気候と土壌・植生1	気候ごとの土壌・植生の特徴と形成要因を学習する.
12	気候と土壌・植生2	気候ごとの土壌・植生の特徴と形成要因を学習する.
13	自然と農業1	自然条件を背景とした農業の分布・成立を学習する
14	自然と農業2	自然条件を背景とした農業の分布・成立を学習する.
15	自然環境と文化	自然環境と衣食住など文化の関係
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
備考	前期中間試験および前期定期試験を実施する.	